

科目名		建築特講			
担当教員		野口 信彦・廣田 邦昭		実務授業の有無	○
対象学科		建築士学科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	単位数		時間数
授業概要、目的、授業の進め方		1. 施工管理技士試験対策、建築士試験対策 ①過去問を解く→②解説→③確認テスト を繰り返し、知識の定着を図る。 2. 建築実務演習 ① 卒業制作等のパース作成の構図(アングル)についての考え方を学ぶ。 ② コンペ等のプレゼンテーションスライドの作成について学ぶ			
学習目標 (到達目標)		1. 施工管理技士試験対策、建築士試験対策：主に環境工学部分の理解を深める。 2. 建築実務演習：① 作成したパース等が意図した構図になっているかを検証。 ② プレゼンスライドで内容が相手に伝わっているかの検証。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		1. 図説やさしい建築環境 2. 建築実務演習：『伝わるデザイン』・構図についてのwebサイト等			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備・備考	
1	建築計画（環境工学）			2級建築施工管理技士試験や2級建築士試験の対策授業として主に建築計画の環境工学に特化して学習する。	
2	確認テスト			分野ごとにテストを行い、知識の定着を図る。	
3	建築実務演習：構図			建築パースや建築写真の例を挙げ、様々な構図を比較検討してみる。	
4	建築実務演習：プレゼンスライド			プレゼンスライドの全体の構成等を学び 伝わるプレゼンスライド作成を目指す。	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
確認テスト	プレゼン評価			1. 施工管理技士試験対策、建築士試験対策 演習中心の授業で実践的な内容です。ここでしっかりと知識を定着させてください。	
50 %	50 %	%	%	2. 建築実務対策：卒業制作等の作品制作で見せるパース には構図が大切です。構図の考え方を学んで下さい。また、プレゼンスライドではどのような構成にすれば良いかを学んで下さい。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					